


広報

ふたば

2016
1月号
災害版No.56



表紙写真：迎春：皆さんにたくさんの幸福が訪れますように...


ずっと、ふるさと。
双葉町。

復興に向かってさまざまな取り組みを

双葉町長 伊澤 史朗



す。

また、新山から浪江町境の旧国道の除染と、通行の支障になっていた倒壊家屋の解体が完了し、車両等の通行の安全が確保されます。

昨年7月から双葉町復興町民委員会が設置されました。本委員会は双葉町復興まちづくり計画(第一次)に基づき、避難先における町民一人ひとりの生活再建と町民の絆の維持・発展に関する取り組みや町の復興に向けたビジョンとして作成された「双葉町復興まちづくり長期ビジョン」に書かれた施策の具現化に向けた意見等を求め、部会からの最終報告を受けて、委員会での提言のとりまとめに向けた議論が行われております。今後は委員会からの提言を受け、町として本年3月までに「双葉町復興まちづくり事業計画」「双葉町再生可能エネルギー活用・推進計画」「双葉町内復興拠点基本構想」を策定し、町の復旧・復興の具体像などを皆さまにお示しできると思います。

東日本大震災に伴う東京電力(株)第一原子力発電所事故による全町避難から、5年目の新年を迎えました。本年3月に、両竹・中野・中浜地区の避難指示解除準備区域の本格除染が終了し、双葉町の復興の足がかりとなります。今後は本地区をはじめ駅周辺までを町内復興拠点として段階的に復旧・復興事業を進めながら町の復興を進める考えで

染をはじめ、倒壊家屋の撤去、道路、上下水道のインフラ整備等の事業を実施しております。さらに、町の復旧・復興に国・県に対して要望活動を継続的に実施し、さらに大臣等が町に求められた際にも各種の要請を行っております。

一昨年4月に町立学校が再開し、学校教育を実施しております。町の将来を担う子どもたちの教育は町の存続に関わるものとして重要施策として取り組んでおります。

町内において、イノシシやハクビシンの被害報告が多数寄せられております。町としましては、町民の方が資材を購入した際の補助事業を開始したところであり、少しでも野生動物の被害が少なくなるよう対策を講じます。

本年3月には戸籍謄抄本、住民票、印鑑証明、課税・所得証明書が全国のコンビニエンスストア、郵便局の端末により発行ができるようになります。発行には個人番号カードと、発行手数料が必要となりますが、避難先で証明書の取得が可能となります。少しでも避難されている町民の皆さまの利便性に寄与できるものと思います。

町民の皆さまの生活再建につきます

では、東電賠償への支援とともに、復興公営住宅の早期整備等に取り組んでまいります。

さらに、新年度より避難生活に伴って発生する移動経費や就業に向けての受講料等の支援に係る補助事業を計画しています。このほか次年度の医療費等の減免、高速道路使用料の無料化の現行通りの延長を年末に議長・副議長と共に要望してまいったところです。

震災から5年という区切りを前にして、職員とともに町の復旧・復興、町民の皆さまの生活支援や絆の維持に関する事業などに精力的に取り組んでまいっている所存ですので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。年頭にあたってのご挨拶といたします。



教育長 半谷 淳



副町長 半澤 浩司

絆 — きずな —

双葉町議会議員

佐々木 清



平成28年の新年を迎え、町民の皆さまに議会を代表してご挨拶を申し上げます。町民の皆さまには、今なお帰還が見通せない中、辛く厳しい避難生活を全国各地で送られていることに対し、心よりお見舞い申し上げます。

東日本大震災、さらに追い打ちをかけるように東京電力(株)福島第一原子力発電所事故という未曾有の複合災害から、早や5度目の新年を迎えることになり、歳

月だけがむなしく過ぎていくばかりで、とても残念でなりません。昨年は、復興拠点の「さががけ」として避難指示解除準備区域でありました中野、中浜、両竹地区の津波瓦礫の撤去、集積及び処理に加えて、家屋や農地の除染が行われており、今年の3月末までには終了することになっております。

また、双葉・浪江の両町にまたがる沿岸地域に国営の復興祈念公園を設置することが県において決定されたところであり、さらに町においては、常磐自動車道追加IC(復興IC)の連結許可が承認され、平成31年度末の供用開始に向け整備を行うことになるなど、少しずつではありますが町の復興に向けての兆しが出てきております。しかしながら、依然として避難生活の長期化が懸念されております。議会といたしましても、避難生活を強いられております町民の皆さまの維持のための支援を、これからも執行部と協力しながら進めてまいりたいと考えております。

特に避難生活の中で、町民の皆さまが安心して生活ができる環境の整備として、県が整備する復興公営住宅の早

期完成を目指すよう県に要望してまいります。また高齢者に対しての医療体制の充実など、議員一丸となって取り組んでまいります。

さらに、第一期「集中復興期間」が今年度で終了し、来年度から5年間の第二期「復興・創生期間」が始まりますが、町の復興のための事業推進に財源の確保が必要不可欠であります。また、国の復興庁設置法により平成33年度で復興庁を廃止するとされていきますが、福島県も含め、これから本格的な復興が始まる町としては、その後も国の長期的な支援が必要であるため、復興財源の確保と国の被災地支援体制の確保に、議会として国にしっかりと要望してまいります。

今年も高速道路の無料化、国民健康保険税、介護保険料などの優遇措置の継続、高齢者の避難生活に伴う介護の問題など、全ての町民が帰還できるまでしっかりと国・県に要望してまいります。

終わりに、町民の皆さま一人ひとりが健康で、希望を持って日々を過ごされますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

双葉町議会

議長	佐々木 清一
副議長	岩本 久人
議員	清川 泰弘
議員	菅野 博紀
議員	高萩 文孝
議員	谷津田 光治
議員	白岩 寿夫
議員	羽山 君子



震災を通して

埼玉県加須市立騎西小学校5年

小畑 大地くん（渋川）



ぼくが保育園の時に震災にありました。ぼくはそういう体験をしたことはもちろんないのでとても怖かったし不安でした。そして川俣、さいたまスーパーアリーナ、旧騎西高校へと避難しました。4月には騎西小学校へ入学することができました。

新年の抱負

いわき市立植田小学校5年

門馬 小夏さん（長塚二）



私の新年の抱負は勉強をがんばることです。算数が苦手なので、授業の時先生の話をよく聞いたり、友達

最初は、保育園のお友達とも離れ離れになり淋しく、不安ばかりだったけれど、今ではたくさんのお友達ができ、毎日学校が楽しいです。

ぼくは、今年6年生になります。なので、悔いのないように学校生活を送りたいと思います。2年生から始めたサッカーもがんばっています。

そして、ぼくの将来の夢は、学校の先生になることです。震災後、大好きな先生に出会い、震災にあった頃の話をたくさん聞いてくれたり、相談にのってくれました。将来、ぼくもそんな先生になれるようにがんばりたいと思います。

の意見についてどう思っているのかなど手をあげて発表するようになりたいです。

それから、あいさつを大きな声で元気よくするようにしたいです。

登校班で町の人や先生がいる時、小さな声であいさつをしてしまったり、通りすぎて行ってしまうことがあるので、大きな声であいさつするようにしたいです。

これからは、目標が達成できるように勉強やあいさつすることを意識してがんばりたいと思います。

申年生まれの子どもたちにご挨拶しました

私の今

埼玉県八潮市立大原小学校5年

松本 陽奈さん（新山）



私は、入学前に震災にありました。お父さんの仕事の関係で新潟市の小学校に入学しましたが、

四月から六年生！

神奈川県川崎市立百合丘小学校5年

谷田 裕丞くん（下条）



ぼくは、家族4人で神奈川県川崎市で生活しています。初めは、慣れない環境で色々と、と

1年生の3学期に今の学校に転校してきました。

2年生の時の担任の先生が、双葉町出身の先生で、転校したばかりだったので学校生活が不安でしたが、双葉町を知っている人がいて安心して学校生活を送ることができました。

大原小学校はスポーツが盛んな学校で、去年の市内陸上大会で10連覇をしました。

今年は、小学校生活最後なので、勉強もスポーツもがんばりたいと思います。

思い出に残るように、市内陸上大会で11連覇できるようにがんばります。

まだい不安でいっぱいでした。でも、学校の先生や友達と少しずつ仲良くなれて、あつという間に5年生になりました。

今は、体を鍛えるために始めた空手をがんばっています。だんだん、体の大きい人と一緒に組むようになって体があちこち痛いけど、4月から6年生になるので、もっともつと技を決められるようになって、昇級審査にどんどん合格できるように練習していこうと思います。

双葉のことは、時々思い出して家族で話したりします。今はここで一日一日自分のペースでがんばっていききたいと思っています。

震災後の様子と目標

いわき市立菊田小学校5年

榎内 龍輝くん(長塚二)



ぼくは、震災後、色々な体験をすることができたことで、自信をつけることができました。それは、二校目の転校先だっ

新年の抱負

群馬県高崎市立塚沢小学校5年

松井 葉々美さん(下条)



私は今、群馬県高崎市に住んでいます。仲の良い友達もでき、毎日楽しく生活をしています。

た猪苗代の長瀬小学校でのスキーや祖父との自転車での松原湖一周約30キロを走り切ることができ、諦めなければ結果が出てくるということがわかってからは、自分にとっても自信が付きました。

三校目の転校先の菊田小学校に来てからは、水泳を始めました。肺活量が付いてきたためか、5年生の持久走で初めて10位以内に入ることができ、とてもうれしかったので、小学校最後の6年生の持久走では、5位以内に入る事を目標に、これからもスキーと自転車の方も今以上にがんばっていききたいと思っています。

私の新年の抱負は、「自分のことは責任を持つてする」です。あと少しで6年生なので、係や委員会など色々任されるので責任を持つことが大事だと考えました。

それから、私の夢は、パティシエになることです。パティシエになるためには、練習が必要です。ですから、日々、努力することが大切だと思い、もう一つ新年の抱負を考えました。それは、「最後まで努力する」です。今年は、夢を叶えるため、日々努力することを抱負とし、がんばっていききたいと思っています。

2016年 今年の干支は「申」。

今年の抱負や今、感じている

新年の抱負

いわき市立菊田小学校5年

菊池 実加さん(長塚二)



私の新年の抱負は、水泳をがんばることです。

私が水泳を始めたのは、小学2年生の時です。水泳をやっているうちに水泳が大好きになり

ぼくが目指すもの

栃木県宇都宮市立清原東小学校5年

半谷 勇人くん(三三)



地震があった時、ぼくは、ふたば幼稚園の年長組でした。楽しみにしていた卒園式ができなかったことは、今でもとても残念です。

ました。最初は、うまく泳ぐことができませんでした。でも、新しい泳ぎができるようになり、スイミングスクールでの階級が上がるとうれしくなり、泳ぐのが楽しくなりました。

しかし、3年生の時に転校をしてからは水泳をやる気がなくなっていました。それでも4年生の時、ふたたび水泳をやりたいという気持ちになりました。

水泳は、健康にも良いと思います。そして新しい泳ぎを覚えて泳げるようになるまで練習を続け、スイミングスクールでの階級を上げたいです。だから今年の抱負は水泳をがんばることです。

あの頃、ぼくはよく家の庭でボール蹴りをしていました。そして今、ぼくが夢中になっていることは「サッカー」です。あこがれのサッカー選手は、ガンバ大阪の遠藤保人選手です。どんな時も落ち着いていて、正確なパスを出せるところがすごいと思います。

今年は、小学校の最高学年でプレーをすることになるので、もっともっと練習をして、あこがれの遠藤選手に近づけるように、そして一試合でも多く勝つことができるように、チームのみんなと一緒にがんばりたいと思います。

第4回双葉町議会定例会

12月9日招集の平成27年第4回双葉町議会定例会で、伊澤史朗町長が行政報告を行いました。その概要をお知らせいたします。

行政報告



9月定例会以降の行政経過について
ご報告申し上げます。

市町村対抗軟式野球大会 福島県ソフトボール大会

9月19日、第9回市町村対抗福島県軟式野球大会が本宮市しらさわグリーンパークで開催され、10月17日には第2回市町村対抗福島県ソフトボール大会が相馬光陽ソフトボール場で開催されました。軟式野球、ソフトボールともに1回戦で惜敗しましたが、選手の皆さんの復興への願いが込められた元気いっぱいプレーに勇気づけられたところであります。



双葉町総合美術展 双葉町民作品展

10月20日・21日の両日には、郡山市民プラザ・ビッグアイで、双葉町芸術文化団体連絡協議会主催により、第28回双葉町総合美術展と第2回双葉町民作品展覧会が開催され、多くの素晴らしい作品が展示されました。会員をはじめ出品されました皆さんのご労苦に感謝申し上げます。



10月24日・25日の両日には、勿来地区文化協会のご支援により、勿来市民体育館で開催された勿来地区総合

文化展において、第2回双葉町民作品展覧会を開催しました。今回は、町立小中学校の児童生徒をはじめ、いわき市、加須市などから町民の皆さんの作品144点が出展され、勿来地区の市民の皆さんとの文化交流を図りました。



梅檀祭

10月31日には、幼稚園・小中学校による「梅檀祭」が町立幼小中学校仮設校舎体育館において開催されました。子どもたちが一生懸命練習を

重ねた、和太鼓の演奏や英語劇など、学校ごとの演技の発表は、参観された皆さんに大きな感動を与えていただきました。



町表彰式

11月3日には、平成27年度双葉町表彰式を挙行了いたしました。今回の表彰式では、永きにわたり選挙管理委員会委員としてご活躍され、本町の選挙の円滑な執行に多大な貢献をされた2名の方々にご功労章を、さらに永きにわたり社会教育委員として町教育行政に貢献された1名、町スポーツ推進委員として貢献された1

名、消防団員として永きにわたりご活躍をいただきました3名の方々、町職員7名に永年勤続表彰をそれぞれお贈りいたしました。

さらに、町財政調整基金に多額の金員をご寄附いただきました1社、町立学校の教育振興のため暖房器具、複写機をご寄附いただいた1団体、震災直後より公用車の少ない中、自動車のご寄附をいただいた7社、さらに町の行政事務支援のため文書裁断機のご寄附をいただきました1社に感謝状を贈呈させていただきました。



ふくしま駅伝大会

11月15日には、第27回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が白河市陸上競技場から福島県庁までの16区間95・1kmで繰り広げられました。今回は、北塩原村で2泊3日の合宿を行い、心をひとつにして大会に臨み、双葉町選手の力走を見せていただきました。選手の頑張りは、町民の皆さんに元気と感動を与えていただいたものと思います。監督・コーチ・選手、そしてご支援していただきました関係者の皆さんに改めて感謝申し上げます。



消防団秋季検閲式

11月21日には、震災後3回目となる平成27年双葉町消防団秋季検閲式を町立幼小中学校仮設校舎体育館で開催しました。団長の指揮のもと、団と通常点検が行われ、その士気の高さを確認いたしました。



町政懇談会

10月14日から11月17日にかけて、福島県内7カ所、福島県外7カ所の計14カ所で町政懇談会を実施し、町民の皆さんが各地に避難しているな

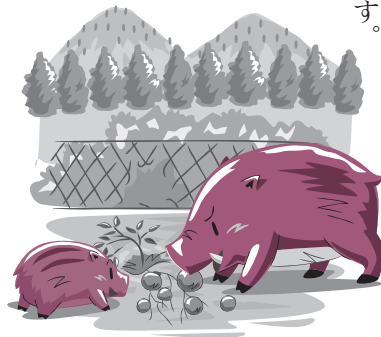
か、286人の方々にご出席いただきました。今回の町政懇談会では、「双葉町復興まちづくり長期ビジョン」のほか、除染や中間貯蔵施設、原子力損害賠償などの町政全般について、町民の皆さんから多くのご意見、ご要望、ご質問をいただきました。懇談会で出されたご意見等を、今後の町政運営に反映させるべく検討を深めてまいります。



野生鳥獣駆除対策

野生動物の駆除対策につきましては、8月より環境省と福島県が町内にハコ罠15基を設置し捕獲を行っており、11月末現在でイノシシ55頭を

捕獲しております。イノシシ等の家屋等への侵入の被害が増大しており、引き続き、国、県に対し捕獲の実施と罠の増設を要請しているところであります。



10月7日、環境省発注の本格除染仮置き場で使用する遮へい土のうの運搬中に、双葉町内の国道6号でトラックの横転事故が発生し、4時間にわたり通行止めなどの通行規制が敷かれました。このことを町としては重く受け止め、10月13日に丸川環境大臣に対して、議長とともに再発防止等の申し入れを行いました。11月24日に中間貯蔵施設予定地内保管場で使用する遮へい土のうを運搬中に富岡町内の国道6号で追突事故が発生したため、再度事故防止の徹底を強く求めたところであります。

中間貯蔵施設につきましては、これまで整備予定地内の双葉町保管場への試験輸送で8市町村からの搬入が終了し、12月7日現在5市町村から搬入中であります。



復興に向けた取り組み

町の復興に向けた取り組みについてありますが、双葉町復興町民委員会における議論を引き続き行っております。これまで、高齢者等福祉部会、町民コミュニケーション部会、復興産業等拠点部会をワークショップ形式で各5回、また復興産業等拠点部会に設けた新産業創出分科会を3回開催し、各部会において部会ごとの検討課題や意見等を盛り込んだ最終報告書が取りまとめられました。

これを受けて今後は、復興町民委

員会において各部会の最終報告書について議論を進め、双葉町復興まちづくり計画（第一次）に基づく事業計画書、双葉町内復興拠点基本構想、再生可能エネルギー活用推進計画に反映させるための提言書の取りまとめを行っていく予定であります。



また、復興祈念公園につきましては、県が設置した「復興祈念公園あり方検討有識者会議」の第1回目の会合が10月9日に開催され、私も行政委員として出席いたしました。私からは、復興祈念公園の議論を深めていくため、学識者委員が町内の現地視察を行うことと、住民意見反映のために町民から意見聴取を行うこ

とを求め、いずれも要請どおり実施されたところであります。

復興祈念公園の基本構想の取りまとめにあたっては、現地視察の結果や住民意見を踏まえながら、地震、津波、原子力災害という未曾有の複合災害からの教訓、犠牲になられた方々の追悼と鎮魂、復興への強い意志等をしつかり発信していくことが必要でありますので、復興まちづくりとも連携させながら、多くの方々が訪れる施設となるよう、取り組んでまいる考えであります。



いわき市勿来酒井地区に整備される復興公営住宅の進捗状況につきましては、用地契約をほぼ終えた状況で、平成29年度後期の入居開始に向け、用地造成・建設工事の準備が進められているところであります。10月28日には造成工事の発注公告が行われ、来年1月には施工業者が決定する予定との報告を受けております。引き続き、県に対し

て早期入居が可能となるよう強く求めてまいります。

さらに、勿来酒井地区の木造戸建て80戸分については、準備が整い次第、速やかに入居募集を行うこととなりました。詳細が決まり次第、町民の皆さんに周知を図ってまいります。

町立幼稚園・小中学校の園児・児童生徒数は、平成27年度当初17名でありましたが、12月8日現在で22名となっております。今後も園児・児童生徒の増加に向けて取り組んでまいります。



指名競争入札参加資格審査

平成28年度
申請受け付け

町の指名競争入札に参加するためには、「指名競争入札参加資格審査申請書」を提出しなければなりません。提出された申請書は、一定の基準に基づき審査を行い、必要な資格を満たしている方を有資格者として登録します。今回は、平成28年度1カ年分の資格審査申請書を受け付けます。

▶提出場所及び提出方法…

持参または郵送（締切日必着）のいずれかの方法により双葉町いわき事務所総務課管財係へ提出してください。

▶受付期間

2月1日（月）から2月29日（月）まで
午前8時30分～午後5時15分
※土・日曜日、祝日を除く（郵送の場合は可）

▶当該資格の有効期間

平成28年6月1日から平成29年5月31日までの1年間有効です。

【問い合わせ先】

双葉町いわき事務所 総務課管財係
☎0246-84-5201

▶提出書類…町ホームページからダウンロードしてください。

- 共通様式：「双葉町入札参加資格者名簿入力票」
- 添付書類

- ① 工事・測量等の請負を希望する場合
 - ・福島県統一様式に準じる（各1部提出）
- ② 物品役務を希望する場合
 - ・入札参加資格審査申請書
 - ・登記事項証明書またはその写し（個人の場合は身分証明書またはその写し）
 - ・納税証明書またはその写し
 - ・営業所一覧表（営業所などに委任する場合は委任状）
 - ・直前1年の営業年度の財務諸表
 - ・その他営業の内容、能力などを示すもの（実績高調書、従業員数および営業年数調書など）

※申請書はA4版ファイルとじとする
ファイルの色については、（工事等…グリーン、測量等…イエロー、物品役務…ピンク）で提出してください。

教育長からのメッセージ



ビジョンと議論の大切さについて

これまで、教育長の立場で様々な会議に参加してきました。その中で町の将来をどう考えるのか、双葉町のそして双葉郡の教育をどう進めるか、将来のビジョンに関する議論を多く経験してきました。そうした議論を通じて、議論の大切さについて考えさせられました。皆さんにも是非考えて欲しいと思います。

双葉郡教育復興推進ビジョン

双葉郡内の教育長会では、平成25年7月に**震災後の教育復興についてのビジョン**を取りまとめました。目的は二つ、「双葉郡の復興や持続可能な地域づくりに貢献し、全国や世界で活躍できる人材を育成する」、「子どもたちの実践的な学びで地域を活性化し、復興につなげる」です。そして翌年4月より、ビジョンの実現に向けて種々の取り組みが始められました。郡内全小中高校で取り組んでいる「**ふるさと創造学**」や「**教員研修**」、「**絆作りイベント**」等です。このような取り組みを通じ、教員や子どもたちそして保護者や地域住民の間に、「**授業が変わった、子どもが変わった**」という意識の変化や様々な状況の変化も生まれています。

復興まちづくり長期ビジョン

昨年3月、町民代表24名から成る「**双葉町復興推進委員会**」による「**双葉町復興まちづくり長期ビジョン**」が策定されました。平成26年4月より述べ11回もの議論を経て策定されたものです。まず、こうした町の将来像に関するビジョンを持つことは、当然ながら大変重要です。今後進むべき町の方向性、復興プランが示されたのです。どのような組織も、組織の大小にかかわらず、達成すべき目標と目標を達成するためのビジョンや具体策が立てられます。学校でも同様のビジョンや計画が毎年作られています。実に大切なものです。

ビジョンに対する様々な声

本年度実施された全国14カ所での町政懇談会で、この「**双葉町復興まちづくり長期ビジョン**」の概要が町執行部より説明され、これについて町民から様々な意見が出されました。「**今の状況でこのような計画が果たして進められるのか、絵に描いた餅ではないか**」、「**いつごろ何の計画が着手可能になるのか、具体的な年度を示して欲しい**」、「**線量の高い、石熊、山田地区はどうなるのか**」、「**いつになったら町に帰還できるのか**」等々の意見です。これらの質問や意見に対して町から回答はあったものの、明確な数値目標は示されていません。平成30年頃には基礎的インフラの整備に取組み、そして概ね5年～10年を目標に「**復興産業拠点**」を整備するというビジョンの中身について、懇談会の参加者からは、「**もっと具体的な数値目標を**」との声も聞かれました。依然として、先の見えない帰還目標、復興計画に明るい希望を見出せない不安やもどかしさを感じているおり、先ほどのような質問となって出されたように思います。

議論の有効性、予想外の状況の創出

それでもビジョンを策定した意義はある、と考えます。まず第一に策定に関わった委員の皆さんの熱のこもった議論と懇談会で示された様々な意見は**今後の復興に必ず役立つ**ものだと考えるからです。町の執行部に対する新たな検討材料となり、町民とっても町の復興を考える材料が与えられたからです。今後、さらに多くの議論が起こることが予想されるし、新たなビジョンが出される可能性もあり、それにより復興計画が修正されるかもしれない、と考えています。実際、双葉郡の教育復興の取り組みの中で、「ふたば未来学園高校」への入学者の殺到、併設中学校の新たな設立等、**予想外の状況が生まれている**のです。自由な想像、議論は有用です。**議論によりそれぞれの思考が活性化され、町の組織としても強化されます**。よく言われるように、議論なき組織は弱体化し、逆に議論により鍛えられた組織は簡単には衰退しません。

議論のテーマは極めて難しく、町から示されたビジョンの修正など考えられるはずもない、と言われるかもしれませんが、これまで町民の皆さんは、避難生活の中で生涯学習や自治会活動、芸術・芸能活動、スポーツ大会、そして各種イベントや会議等に意欲的に参加し、**それぞれの目標に向かい実に逞しく活動してきた**と思います。**このエネルギーを町の復興ビジョンにも発揮できるはずだ**と考えます。町政懇談会で、ある町民の方が、「**町が一つになることが重要だ**」と述べていました。多くの町民が復興ビジョンを思いめぐらし、アイデアを出し合い、議論を重ね、**町民の気持ちが一つになり復興に邁進できるような雰囲気作り**ができれば、と考えています。そのためには是非議論を！そして様々な組織、機会による議論を！

双葉町教育長 半谷 淳

双葉町教育委員会からのお知らせ

日ごろより、本町の教育活動推進につきまして、ご支援を賜りお礼申し上げます。
さて、双葉地区教育委員会では、双葉郡の子どもたちの学力補充と家庭学習の補助のため、下記の学習支援を行っております。ぜひご利用いただければと存じます。
また、教育に関して相談事があれば、教育総務課(☎0246-84-5210)までご連絡をお願いします。

双葉郡の友だちと一緒に学ぼう！

福島県内の双葉郡学習支援拠点のご案内

—双葉郡全体の教育に関するお問い合わせ先—
福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会事務局
☎ 024-504-2886
FAX 024-548-3181

8町村の子どもたちの学びと家庭学習のサポートのため、以下の学習支援拠点が開催されています。
いずれの学習支援拠点も、主催町村・開催地域の児童・生徒に限らず、区域外就学生を含む8町村の子どもたちを受け入れています。見学や体験も可能ですので、各問い合わせ先へご連絡ください。

エリア	学習支援拠点	場 所	対 象		開催日時	開催時間	問い合わせ先	
			小学生	中学生				
放課後学習会								
いわき	ゆずり葉学習会	楢葉小中学校仮設校舎 (いわき市中央台飯野 5-6-1)		●	火・水	16:00～18:00	楢葉町教育委員会 教育総務課 ☎0246-25-5561	
	ゆずり葉学習会	楢葉町サポートセンター空の家 (いわき市平上山口字小喜目作 34-1)		●	月・水・金	19:00～21:00		
	ふたばっ子 錦町学習会	双葉町立小中学校 (いわき市綿町御宝殿 5 6)	●		月・金	14:30～17:30	双葉町教育委員会 教育総務課 ☎0246-84-5210	
				●	月	15:30～18:00		
	ふたばっ子 南台学習会	双葉町南台応急仮設住宅第三集会所 (いわき市南台 3-1-1)	●		火・木	16:00～18:00	☎0246-84-5210	
				●		18:40～20:40		
おおくま放 課後学習会	大熊町好間第三応急仮設住宅集会所 (いわき市好間工業団地 1-43)	●		月・水・金	16:00～18:00	大熊町教育委員会 教育総務課 ☎0242-26-3844		
			●		19:00～21:00			
中通り	こども広場 & 学習サポ ート in 三 春・郡山	三春の里応急仮設住宅 談話室 (三春町大字西方字石畑 487-1)	●	●	火	16:00～18:00	NPO法人ビーンズ ふくしま ☎024-983-9481	
			●	●	土	13:30～16:30		
		島事務所 (郡山市島 2-49-13 ヤマサビル 101)	●		水・金	16:00～18:30		※16:00 からの 利用も可
				●		18:30～20:00		
	放課後学習 支援	安達運動場応急仮設住宅 B集会所 (二本松市油井字長谷堂 230)	●		火・木	17:00～18:30	NPO法人ビーンズ ふくしま 子ども支援センター ☎024-573-0150	
				●		18:30～20:00		
		笹谷東部応急仮設住宅 西集会所 (福島市笹谷字片目清水 36-4)	●		火・木	17:00～18:30		
				●		18:30～20:00		
		旧佐原小学校応急仮設住宅 談話室 (福島市佐原字田中内 74)	●		水・金	17:00～18:30		
				●		18:30～20:00		
		しのぶ台応急仮設住宅 集会所 (福島市上島渡字しのぶ台 29-4)	●		水・金	17:00～18:30		
				●		18:30～20:00		
会 津	放課後学習支援	東部公園応急仮設住宅 (会津若松市松町 8-1)	●	●	月	19:00～20:00	寺子屋万丈舎 ☎0242-93-7950	
	放課後学習支援	寺子屋万丈舎 (会津若松市栄町 2-14レオクラブガーデンスクエア5F)	●	●	月～金	16:00～18:00		
フリースクール								
いわき	フリースクール・ラトサテライト	いわき駅前 L A T O V (いわき市平田町 120)	●	●	火・木	13:00～17:00	大熊町教育委員会教育総務課 ☎0242-26-3844	



ご成人おめでとうございます



▲成人式実行委員長の山田兼也さん（写真：右）と
実行副委員長の西牧絵美さん（写真：左）

成人を迎えて

成人式実行委員長 やまだ けんや 山田 兼也

東日本大震災から約5年が経ち、こうして双葉町の
新成人として迎えられたことを大変うれしく思い
ます。

あの日を境に生活が一変し、家族や友人、地域の
方々に支えられていたことを改めて実感しつつ今日
まで過ごしてきました。

成人を迎え、期待と同時に不安もありますが、大
人としての自覚を持ち、責任のある行動をし、社会
の一員として認められるよう努力していきたいと思
います。

これからも皆さまのご指導のほど、よろしくお願
い申し上げます。

双葉町 成人式

日 時： 平成28年1月3日（日）
受 付 11時30分～
記念撮影 12時45分～
式 典 13時15分～
場 所： いわきワシントンホテル

平成28年 成人者名簿

(※生年月日順)

男 子 35人

氏 名	地区名	氏 名	地区名	氏 名	地区名	氏 名	地区名
山 本 悠 介	郡 山	石 上 裕 基	新 山	宇佐見 潤 哉	三 字	半 谷 俊 憲	三 字
小 林 義 弘	鴻 草	鈴 木 那 津	細 谷	柳 澤 勇 樹	山 田	渡 部 卓 朗	長塚一
大 井 寿	山 田	中 井 陵 允	浜 野	菊 池 直 樹	長塚一	鈴 木 景一朗	鴻 草
紺 野 真 慧	下 条	佐 藤 悠 真	鴻 草	遠 藤 浩 気	細 谷	池 田 隆 樹	三 字
酒 井 啓一郎	下 条	鈴 木 絢 也	長塚二	小田中 秀 昭	下 条	西 崎 啓 介	下 条
高 萩 文 寿	下 条	山 田 兼 也	下 条	竹 原 健太郎	新 山	西 内 春 希	三 字
小野田 泰 顕	三 字	島 田 悠	寺 松	宇名根 健 太	山 田	舶 来 宗 平	山 田
本 田 将 吾	郡 山	天 野 隆 太	山 田	大 川 義 秋	下 条	岡 田 元 樹	山 田
加 村 晴 也	三 字	林 卓 也	下 条	渡 邊 直 人	新 山		

女 子 39人

氏 名	地区名	氏 名	地区名	氏 名	地区名	氏 名	地区名
佐 藤 梨 那	三 字	加 藤 静 夏	山 田	石 井 瑠 美	三 字	朝 田 優	寺 松
稲 本 志歩美	長塚一	志 賀 悠 子	三 字	吉 田 悠 華	渋 川	大 石 真 子	三 字
山 本 葵	石 熊	佐々木 鈴 波	山 田	榊 原 志 帆	羽 鳥	神 植 明日香	長塚一
大久保 裕 里	山 田	遠 藤 唯 奈	下 条	那 須 暁 帆	三 字	田 中 めぐみ	郡 山
大久保 七 海	山 田	畑 中 郁 美	三 字	三本杉 由 衣	長塚一	坪 井 美 滯	新 山
黒 澤 美 咲	長塚一	藤 田 好 美	長塚二	朝 田 未 来	寺 松	早 瀬 うらら	三 字
樋 渡 玲 依	長塚一	半 谷 美 咲	渋 川	岡 田 彩 里	浜 野	細 澤 彩	郡 山
廣 田 里 穂	渋 川	長 嶋 夏 愛	長塚一	白 土 真 穂	新 山	西 牧 絵 美	羽 鳥
草 野 佳 奈	三 字	森 藤 伶 佳	長塚二	井戸川 楓	郡 山	渡 辺 美 幸	郡 山
藤 本 琴 音	長塚二	久米田 玲 水	両 竹	大 貫 妃 南	長塚一		

新成人の皆さまおめでとうございます

20歳になったら国民年金

日本に住む20歳から60歳未満のすべての人は、国民年金に加入し、保険料を納めることが義務づけられています。若いときに公的年金に加入し保険料を納め続けることで、老後の生活を保障するだけでなく、万が一、病気や事故で障害が残ったときや一家の働き手が亡くなったときなど、あなたやあなたの家族を守ってくれます。

ただし、加入の届出や保険料の納め忘れがあると年金が受けられないこともありますので、加入手続きを行いましょう。加入に関する各種手続きは、役場または最寄りの年金事務所へお問い合わせください。

※20歳前に就職して厚生年金に加入中の方は、手続きは不要です。

Q：国民年金保険料を安くする方法はあるの？

A：あります！前納制度をご利用ください。

国民年金保険料を早めに納める（前納）ことにより、保険料が割引になります。

国民年金の給付は、
3種類の基礎年金があります



- ・ 老齢基礎年金
- ・ 障害基礎年金
- ・ 遺族基礎年金

※上記年金を受給するためには、それぞれ受給要件があります。

被保険者の種類	第1号被保険者	第2号被保険者	第3号被保険者
対象者	20歳以上60歳未満の自営業、農林漁業、学生、無職の方など	会社員、公務員など	第2号被保険者に扶養されている20歳以上60歳未満の配偶者
保険料	国民年金保険料 定額：15,590円 (平成27年度) 付加保険料400円	報酬に応じて、事業主と被保険者とが折半で負担します	被保険者本人は、保険料負担が不要です。(配偶者の加入している厚生年金の保険者が負担します)



年金手帳は大切に保管しましょう

公的年金制度では、全ての制度に共通する基礎年金番号が使用されます。

国民年金や厚生年金に加入すると基礎年金番号が記載された年金手帳が交付され、加入記録や保険料の納付状況等がこの番号で管理され、年金に関する手続きの際に必要となりますので、大切に保管してください。

—学生納付特例制度について—

学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

対象者は、学校教育法に規定する大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校（修業年現1年以上である課程）、一部の海外大学の日本分校に在学する方です。申請書の受付は、役場または最寄りの年金事務所となります。

学生納付特例が承認された期間の年金は、将来の受給資格期間には、導入されますが、将来もらえる年金額には反映されません。

ただし、保険料を10年以内に納付（追納）することにより年金額を増やすことができますので、社会人になってから保険料を追納することをおすすめします。

※学生の方以外にも保険料が猶予・免除になる制度があります。

【問い合わせ先】健康福祉課 国保年金係
☎0246-84-5205

三字行政区 総会・再会の集い



眼下に広がる太平洋を眺めながら、11月8日、9日の両日、三字行政区の総会と再会の集いを3年ぶりにいわき市小名浜オーシャンホテルで開催しました。

県内外をはじめ、遠くは首都近郊から36人が参加しました。

総会は、山口清一副区長の進行により震災後各地で亡くなられた39人の御霊のご冥福を祈り、黙とうを捧げた後、議事に入りました。

加村英敬区長からのあいさつと。平成25年以降の町と三字地区の経過報告、続いて会計担当の柚原滋樹さんから会計報告と予算案が提示され、一部規約の改正を含め原案通り承認されました。

また、加村区長から役員改選の要望があり、審議の結果、区長に千吉良高志さん、会計に加村範良さん、副区長には引き続き山口清一さんが承認されました。

今回初めて出席された15人を含め皆さんが将来への不安と無念の思いが強く感じられた総会でした。

幸いに三字地区には前沢婦人会による女宝財踊りの伝統芸能が息づいており、全国各地より役者が集い、震災以降も毎年の出演に称賛の拍手をいただいております。今後とも半谷八重子さんのリーダーシップによる組織の継承を願いました。

「再開の集い」は、前区長の鎌田益實さんの乾杯の音頭により時間無制限の交流会となつて盛り上がりしました。

翌日は、「また会うべ」「元気でなあ」と次回の再会を胸に、今回都合により参加できなかった方々が次はぜひ参加いただけるようにと願いながら帰路につききました。

※加村英敬区長様より、写真、記事のご提供をいただきました。

新そば

大えび天を食べる会



12月9日、白河市郭内応急仮設住宅において「新そば・大えび天を食べる会」が開催されました。

このイベントは、白河市で避難生活を送る双葉町民へのボランティア活動を行っている「傾聴ボランティア白河みみずく」の皆さんと、双葉町の「しみずや」店主の清水敏英さん（黄色いダルマの会有志代表）との縁がきっかけとなり開催されたものです。

参加したのは白河市や周辺地域に住む双葉町民の皆さんとスタッフを含めた総勢約150人で、白河市の野出島地域活性化プロジェクトの皆さんによる新そばの他、栗蒸し羊羹や抹茶も振る舞われました。

両竹行政区

総会・交流会



両竹行政区の総会・交流会が11月7日、8日の一泊二日の日程で郡山市磐梯熱海「かんぼの宿」で開催されました。

震災後4回目となる総会でしたが、ふるさとの懐かしい人々との再会と絆を深めたい思いで20人の方々が参加しました。

総会に先立ち、伊澤史朗町長から双葉町民の避難状況や今後の双葉町復興ビジョンなど町政全般にわたってのお話をいただきました。

続いて、福島県相双建設事務所職員、町産業建設課職員から説明等がありました。

総会に入り、震災と原発事故の犠牲となられた方、避難中に亡くなられた方々のご冥福を祈り黙とうを捧げました。

齊藤六郎区長から、両竹地区の現状について、除染の状況、神社の様子、墓地の状況等についての報告がありました。また、平成26年に実施された行事で神社仮神殿、鳥居の設置、公民館前のガレキ撤去等についての報告と会計報告があり、承認されました。役員改選では、役員全員が再任となりました。また緊急動議として、副区長を2名にするという案が出され、承認された後、沼内喜久男さんが選出されました。

その他、両竹地区をどうするかという話題に、全員が「みんなで両竹地区を盛り上げていかななくてはならない」という力強い意思表示がありました。また、泉田邦彦さんから、両竹の歴史にふれたお話があり、両竹地区への認識を新たにしました。

交流会では、伊澤町長を囲んで和やかな会となりました。久しぶりに会えた喜びやお互いの健康を祈り、双葉町の復旧・復興を願い、様々な思いを抱きながら、来年また再会できることを期待して終了しました。

※齊藤六郎区長様より写真記事のご提供をいただきました。



▲激励に訪れた鈴木和夫白河市長とマスコットキャラクターの「しらかわん」(写真右)

また、公務多忙の中、鈴木和夫白河市長も会場に訪れ、「人は相身互い。助け合うことが大事であり、白河市は双葉町とは気候が違うので風邪をひかないように注意して、また希望を持って生活してください」と激励の言葉をいただき、参加した皆さんは、鈴木市長の温かい言葉に深く感謝しました。

ごちそうができ上がると、屋外に準備されたテーブルや集会所の中で、アツアツの新そばと揚げたての大きなび天に舌鼓をうちながら、白河市の方々のご厚意やご支援に感謝していただきました。

吹く風は冷たくても、心の中はぽかぽかと温まったように、皆さんの笑顔がたくさんみられました。おいしい食事をとりながら、来年もみんなで助け合い良い年になるようにと祈って楽しいひとときを過ごしました。

11月例会



いわき・まごころ双葉会の11月例会は、11月10日、「いわきの復興を担うコミュニティ重点事業」を活用して、お世話になっているいわき地域をもっと知ろうと「いわき市再発見：バスツアー」をいわき市薄磯地区との地域交流と併せて実施しました。

参加者54人が、小名浜港に向かい、遊覧船でのクルージングを楽しみました。船中より、近代的なコンビナート工場群を眺め、港内は、大型石炭運搬船や巨大タンカー、貨物船等が埠頭に接岸して、盛んに荷役中でした。さらには、建設中の広大なポートアイランド、橋梁等、小名浜港は活気にあふれていました。遊覧船を追って乱舞するカモメが、乗客が投げるエサを空中で上手に食べる様子に乗客の笑顔誘っていました。午後は、塩谷崎灯台下の美空ひばり記念碑周辺を散策し、いわき市で最も津波被害の大きかった薄磯地区に行き、現地でも区長さん等から、巨大津波の被害の様子や復興途上の状況等の説明を聞き、「津波被害者」と「原発被害者」との交流ができました。

薄磯地区を後にして、バスは内陸に向かい、国宝「白水阿弥陀堂」を拝観、建立の歴史的な説明や建物の特徴等を聞き参拝しました。

最後は、常磐炭鉱発祥の説明を聞きながらバスの車窓から常磐炭鉱石炭積場跡、ツリヤマ等を眺め、戦後の復興に貢献した常磐炭鉱に思いを馳せました。

いわき市は、香川県とほぼ同じ面積とか、本日のツアーでその広さを実感し、色々ないわき市の顔を垣間見るにより、市内での長期避難生活が続く中、新たな発見もあり、有意義なバスツアーの一日となりました。

※木幡智清副会長様より、写真、記事のご提供をいただきました。

双葉の町並みを再現

11月30日から12月6日にかけて、いわき市錦町にある町民交流施設ふたば一くで「記憶の街ワークショップ for 双葉町」が開催されました。

今回制作された双葉町の模型は、町の中心部と海沿いの両竹・浜野地区で、500分の1の大きさで作られた真つ白な模型に、訪れた町民の皆さんの思い出を聞いて、皆さん自身が模型に色を塗り、町の模型を完成させていきました。



記憶の町ワークショップは、神戸大学・槻橋研究所が中心となつて2011年から行っているものです。現在まで震災を受けた40を超える地域の模型を作り、その地域の皆さんに町の記憶を聞くワークショップを行っています。

訪れた町民の皆さんは、「あ！ここが自分の家だ」「ダルマ市はこの道でやっていた」など、生まれ育った町の模型を見ることで、より双葉町への想いを強くしたようでした。



思い出の場所などにフラッグ(旗)を立てていきました。

花まつり

だるま市

— 使命を胸に —

双葉町消防団秋季検閲式

11月21日、町立学校体育館において、震災後3回目となる双葉町消防団秋季検閲式が開催され、避難先から石井義幸団長をはじめとする32人の消防団員が集合し、きびきびとした態度で検閲式に臨みました。

渡辺浩美訓練団長の号令で伊澤史朗町長や来賓の方々により閲団、通常点検が行われました。

続いて伊澤町長が「双葉町は現在も国の避難指示により消防活動も大きく制限されていますが、今後、町の復興・帰還へ向けて消防団は必須不可欠です。地域の安心・安全の守り手として、引き続き消防団活動にご尽力いただき

たい」と式辞を述べ、来賓の御代典文相双葉地方振興局長、吉田栄光県議会議員、佐々木清一町議会議長、藤田雅双葉警察署浪江分庁舎署長、加勢信二浪江消防署長が祝辞を述べられました。

また15人の団員に対する定例表彰が行われ石井団長から代表者の遠藤圭司団員(第一分団)に表彰状が贈られました。

石井団長の訓示では「団員は全国に避難して十分な活動ができない状況であるが、引き続き自己研さんに励み、避難先での防火活動に努め、町民を守るという使命を胸に災害時にはいつでも対処できるようにしてほしい」と訓示を述べられ士気を高めました。



双葉ふれあいクラブからのお知らせ

第2回双葉町民交流パークゴルフ大会

- ・日 時… 平成28年1月23日(土)※小雨決行
受付開始時間：8時30分
開 会 式：9時
競 技 開 始：9時30分
閉 会 式：13時30分
- ・場 所… いわき市鮫川河川敷公園コース36ホール
(植田公民館裏側)
※誘導旗がありますので、それに従って会場までお越しください。
- ・参 加 費… 無 料
- ・対 象 者… 小学3年生以上の双葉町民
- ・定 員… 100名程度
- ・競 技 方 法… 36ホール ストロークプレー
- ・表 彰… 男女別1～3位、ホールインワン賞、理事長賞、ブービー賞
- ・申込み締切… 平成28年1月15日(金) 18:00まで
氏名・電話番号・年齢・経験、道具の有無を電話か
FAXにてお申し込みください。

- ☆ 道具をお持ちでない方は、こちらで準備しておりますので、初心者の方もお気軽にご参加ください。
- ☆ 閉会式前に昼食の時間をとりますので、500円のお弁当の斡旋も行います。希望される方は参加申込時に一緒にご注文ください。当日受付にて500円をお支払いいただきます。
- ☆ 保険については、参加者全員にふれあいクラブで加入しているイベント共済を適用しますが、それ以上の補償はありませんので、あらかじめご了承ください。

平成27年度 双葉町民ボウリング大会

- ・日 程… 平成28年2月6日(土)
受付開始時間：12時45分
ゲームスタート：13時30分
- ・場 所… 鏡石空港ボウル
〒969-0401 鏡石町鏡沼 216 ☎0248-62-4142
- ・参 加 費… 無 料
- ・対 象 者… 小学生以上の双葉町民
- ・競 技 方 法… 一人3ゲーム
ハンディキャップ制
- ・表 彰… 1～3位
- ・申込み締切… 平成28年1月29日(金) 18:00まで
氏名・電話番号・性別・年齢を電話かFAXにて
お申し込みください。

- ☆ 参加者全員に景品を準備しております。
- ☆ 初心者の方もお気軽にご参加下さい。
- ☆ 参加多数の場合、バスの手配をいたします。
- ☆ 保険については、参加者全員にふれあいクラブで加入しているイベント共済を適用しますが、それ以上の補償はありませんので、あらかじめご了承ください。

【申し込み・問い合わせ先】NPO法人双葉ふれあいクラブ ☎0246-38-3325 FAX:0248-21-6188

双葉町体育協会 家庭婦人バレーボール部活動のお知らせ

双葉町体育協会家庭婦人バレーボール部は、平成27年度から活動を再開し県民スポーツ相双地域大会等に参加いたしました。今後も下記日程により活動していきます。どなたでも参加できますので、一緒に汗を流しませんか。

【練習日】

- ・日 時… 1/23(土)、2/13(土)、3/26(土) 12:30～14:30
- ・場 所… 双葉町立学校仮設校舎体育館(いわき市錦町御宝殿56)
※体育館用シューズをご持参下さい。
※参加を希望される方は、保険に加入するため事前申し込みが必要です。
- ・申込締切日：上記各練習日の5日前まで
- ・参加申込先：教育委員会教育総務課(双葉町体育協会事務局) ☎0246-84-5210



定期的に内部被ばく検査を受けましょう

双葉町では、以下の内部被ばく検査を実施しています。今年度まだ検査を受けていない方は、ぜひお申し込みください。

①ホールボディカウンター（WBC）による 内部被ばく検査 【対象者：全町民】

いわき事務所・埼玉支所では随時検査を受けられます。事前にいわき事務所健康福祉課 健康づくり係までお申込みください。

検査時間 平日 10:00から16:30まで

②尿による内部被ばく検査【対象者：全町民】

この検査では、WBC 検査よりもより詳細な尿中の放射性物質質量（検出下限値はセシウム134・137ともに0.3Bq/kg）を知ることができます。

より多くの方に受検していただけるように、申込期間を延長しました。いわき事務所健康福祉課 健康づくり係までお申込みください。

今年度の受検申込みは、1月15日（金）までです。検体は1月末までに検査機関にお送りください。

【問い合わせ先】健康福祉課 健康づくり係
☎0246-84-5205



③甲状腺検査

【対象者：原発事故当時39歳以下だった方】

検査対象者の方に5月中旬にお送りしております 医療機関一覧をご覧ください。

医療機関は町のホームページでも確認できます。検査を受けられる際は、医療機関に直接お申し込みください。

ひらた中央病院での甲状腺検査をご希望の方は、いわき事務所健康福祉課 健康づくり係までご連絡ください。

◎内部被ばく検査や健康診断・がん検診の結果は、健康手帳に大切に保管してください。

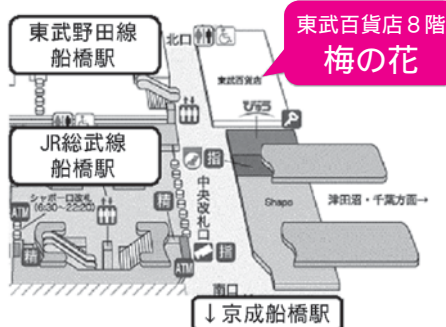
個人線量計をお使いの方へ

本年度も個人線量計の校正を実施します。対象となる線量計は、健康福祉課で貸出中の富士電機製のDOSE-e（下の写真）です。対象者の方には、12月に線量計提出のご案内・返送用の封筒等をお送りしておりますので、同封の封筒にて役場へお送りくださるようお願いします。



千葉県及び近隣地域に避難している双葉町の皆さまへ

11月に千葉県にて第1回目の交流会を開催しました。第2回目も食事をはさんだ懇談会を計画しています。千葉県でも、みんなで一緒にふたばのつながり「ふたばのわ」を広げませんか。皆さまのご参加をお待ちしています。



梅の花 東武百貨店船橋店 ☎047-460-1017

日時：2月6日（土）午前11時30分～

参加費（昼食代）：1500円前後（予定）

場所：船橋 東武百貨店船橋店8階 梅の花
（東武・JR 船橋駅直結、京成船橋駅徒歩3分）
（東武船橋駅改札は1つ、JR 船橋駅中央改札口、京成船橋駅東口）

申し込み締め切り：1月22日（金）

※双葉町以外から千葉県へ避難している方も参加できます。

※お聞きしたいことなどがあれば下記へお気軽にお電話ください。

【申し込み先】千葉ひまわり双葉会

- ・千代田 信一（羽鳥） ☎090-9422-0593
（19時以降にご連絡ください）
- ・鈴木 ミイ子（下条） ☎080-4433-3910
- ・松浦 トミ子（鴻草） ☎090-3334-3984
- ・双葉町復興支援員 秋元（ふたさぼ） ☎070-5550-7645



相馬税務署からのお知らせ

1 平成27年分の所得税等の確定申告書作成会場について

平成27年分の所得税（及び復興特別所得税）、消費税及び贈与税の確定申告期における申告書作成会場は、次のとおり開設する予定です。

➤ 申告書作成会場

『相馬市振興ビル』相馬市中村字塚ノ町 65-16

➤ 開設期間等

平成28年2月1日（月）～3月15日（火）

午前9:00～午後4:00

（開設時間内に申請書作成を終えられるよう、お早目のご来場をお願いいたします。）

- ※1 申告書作成会場の開設期間前と開設期間中、相馬税務署内には会場を開設いたしません。
- ※2 開設期間中は申告相談のご予約を受け付けいたしません。
- ※3 南相馬市内に税務署の申告書作成会場は開設いたしません。
- ※4 土日・祝日は、作成会場を開設いたしません。

2 確定申告書の便利な作成方法について

申告書作成会場は大変混雑し、長時間お待ちいただく場合があります。

来署される納税者の皆さまの、会場混雑による長時間待ち等によるご負担を軽減できますので、是非とも国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」をご利用ください。

特に、収入が給与又は公的年金のみの方専用の「給与・年金画面」が新たに加わり、入力方法がより簡単・わかりやすくなります。

「作成コーナー」で作成した申告書を紙に印刷し、税務署へ郵送等により提出することができます。



国税庁ホームページ



<http://www.nta.go.jp>

環境省

福島環境再生事務所からのお知らせ

—除染について—

○拠点除染（帰還困難区域）について

- ・双葉中学校、双葉高校、町コミュニティセンターの除染は完了しました。
- ・現在は町道新山・鴻草線の除染作業を行っており、1月からは道路上に倒れている家屋等の撤去を開始する予定です。

○本格除染（避難指示解除準備区域）について

- ・宅地・農地・森林・道路の除染を行っています。
- ・除染の進捗状況（平成27年10月末現在）は、宅地38%、農地40%、森林7%となっています。
- ・年末年始（12月27日～1月6日）は除染作業を休止する予定です。

【除染についての問い合わせ先】

福島環境再生事務所 県中・県南支所

☎ 024-983-0610

—中間貯蔵施設について—

◇試験輸送（パイロット輸送）について

（12月18日現在）

双葉町保管場への試験輸送（パイロット輸送）の状況は下記のとおりです。

○輸送期間（11・12月終了した市町村）

- ・三春町（11月 2日～11月19日まで）
- ・南相馬市（11月11日～11月28日まで）
- ・伊達市（11月17日～12月 3日まで）
- ・飯館村（11月11日～12月11日まで）

○実施中

- ・川俣町（11月 2日～12月下旬まで（予定））
- ・須賀川市（11月30日～ 1月下旬まで（予定））
- ・福島市（12月 1日～12月下旬まで（予定））
- ・相馬市（12月 7日～ 1月下旬まで（予定））

○今後の予定

- ・新地町（1月頃から1か月程度（予定））

○年末年始（12月25日～1月10日）は試験輸送を休止する予定です。

保管場及び陳場下交差点の放射線監視

➤ 除染土壌等の搬入による空間線量の増加はないことが確認されています。今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。

➤ 中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO（中間貯蔵・環境安全事業株式会社）のHPで公表しています。

<http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html>

【中間貯蔵施設についての問い合わせ先】

福島環境再生事務所
中間貯蔵施設等整備事務所
調査設計課

☎ 024-563-1293





消防署からのお知らせ

謹んで新年のお祝辞を申し上げます
本年もより一層の火の用心をよろしくお願いいたします。



年末年始の救急事故を減らしましょう！！



年末年始は、餅などによる窒息事故が多くなります。年間を通じて「不慮の窒息」による死亡者数の85%以上を65歳以上の高齢者の方が占めており、特に1月の高齢者が占める割合が約90%となっています。不慮の窒息事故を防ぐためには、周りの方の協力も必要です。特に高齢者がいるご家庭は、餅を小さく切ったり、食事の様子を見るなど注意を払うようにしましょう。

もしも食べ物が詰まったら…

右の図は「チョークサイン」と言います。窒息を起こし、呼吸が出来なくなったことを知らせる世界共通のサインです。いざという時のためにこのサインを覚えておき、そのような方を見つけたら、いち早く周りの方に知らせましょう。



異物除去の方法

成人、小児の例

乳児の例



左の図は「背部叩打法」といいます。もし異物を喉に詰まらせてしまった場合、取り除くことが出来る可能性があります。この方法をしっかりと覚えておきましょう。

- ・詰まらせてしまった人の後方から片手で胸と下あごを支えてうつむかせ、もう片方の手の付け根部分で肩甲骨の間を強く迅速に叩く。
- ・乳児の場合は、片腕の上に乘せ、手のひらであごを支えながらうつむかせ、同様に肩甲骨の間を付け根部分で強く叩く。

【消防署連絡先】・浪江消防署 ☎ 0240-34-7360 ・富岡消防署 ☎ 0240-25-2119

双葉農業普及所からのお知らせ

双葉農業普及所は、毎月県内5カ所で、避難されている農家の皆さんの相談窓口を設置しております。

窓口では、相談者の現在の状況を聞き取らせていただきながら、皆さんが必要な情報、(農産物・土壌モニタリング結果、原子力災害に対応した農業技術情報、資金・事業の紹介など)をわかりやすくご説明いたしますので、お気軽にお越しください。

1月の日程は右記のとおりです。

※町村問わずに最寄りの窓口にお越しください。

※右記以降の日程は随時お知らせいたします。

双葉農業普及所ブログ「ふたばの農業通信」に掲載しておりますので、ご利用ください。パソコン、携帯電話からご覧になれます(携帯電話のパケット料金にはご注意ください)

※時間：午前10時～正午

1月 7日(木)	葛尾村役場三春出張所 (三春貝山多目的運動公園管理棟)
1月 14日(木)	双葉町役場いわき事務所 (いわき市東田町地内)
1月 18日(月)	浪江町役場二本松事務所 (二本松市平石高田第二工業団地)
1月 21日(木)	富田町仮設住宅 (郡山市富田町若宮前応急仮設住宅集会所)
1月 22日(金)	大熊町役場会津若松出張所 産業建設課内

【問い合わせ先】相双農林事務所双葉農業普及所

☎ 0240-23-6474

FAX 0240-27-4747

川内普及所(川内村役場内)

☎ 0240-38-3434

夢ふたば！明日に踏み出せ！！ in 南台

双葉町ダルマ市開催のお知らせ

今年も、双葉町民有志でつくり「夢ふたば人」主催により、新春恒例「ダルマ市」が開催されます。

今回は、あの巨大ダルマ引きが遂に復活します。

日時：平成28年1月9日（土）～10日（日）
午前9時から午後4時まで（10日は午後3時30分まで）

場所：いわき市南台応急仮設住宅 イベント広場

主な内容：

- 9日(土) 子ども樽神輿、LOVE FOR NIPPON STAGE
(若旦那、渡辺俊美ほか出演)、巨大ダルマ引き ほか
- 10日(日) 第26回双葉町芸能発表会、ダルマ神輿 ほか

【問い合わせ先】産業建設課 産業係 ☎0246-84-5209



第26回双葉町芸能発表会

双葉町ダルマ市において、第26回双葉町芸能発表会と双葉町民俗芸能等の発表を行います。
ご家族皆さままでお出でいただき、ぜひご覧ください。

日時：平成28年1月10日（日）午前9時30分～
場所：いわき市南台応急仮設住宅 イベント広場

プログラム

	時間	演 目	団体名	出演者等
	9:30	開 会		実行委員長あいさつ 会長あいさつ
1	9:40	和太鼓 「夏」「いなづま」	標葉せんだん太鼓保存会	横山久勝 外 12 名
2	10:00	箏 「春の海」「手事」 三味線 「津軽じょんがら節」		大川義秋
3	10:20	フラダンス「ハナレイムムーン」 「涙そうそう」	双葉フラレデース	佐藤洋子 外 4 名
4	10:35	コーラス 「冬景色・北欧風」「ふるさとは今もかわ らず」「空を見上げて」	コーラスふたば	上野節子 外 15 名
5	10:50	民謡 「常磐炭鉱節」	双葉町民謡同好会	伊藤美枝子外 15 名
6	11:05	大正琴 「母さんの歌」「ふるさと」「北の国から」	J A ふたば大正琴	江尻京子 外 13 名
	11:20	閉 会		副実行委員長あいさつ

主催：双葉町芸術文化団体連絡協議会 後援：双葉町・双葉町教育委員会 福島民報社・福島民友新聞社



双葉町民俗芸能等の発表

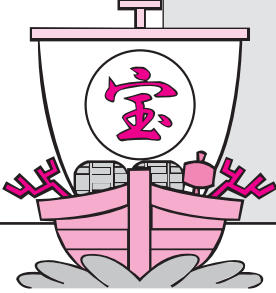
- 9日 8：00～ 奉納神楽（郡山無形文化財保存会）
- 10日 11：30～ 前沢の女宝財踊り
（前沢婦人会芸能保存会）
- 11：45～ 相馬流山踊り（双葉町婦人会ほか有志一同）

【問い合わせ先】

双葉町教育委員会 教育総務課 生涯学習係
☎0246-84-5210

生涯学習で 自分みがき・仲間づくり

教育総務課生涯学習係事業開催のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
1月 婦人学級・行事等の日程						
3 双葉町成人式 いわきワシントン ホテル3F 開式 13:15	4 	5 ○印・・・婦人学級	6	7	8 ○ふたば会 (会津若松市) 新年会	9 ダルマ市 (1日目)
10 ダルマ市 (2日目) 第26回双葉町 芸能発表会 ○ひめ萩婦人 学級(仙台市)	11	12	13	14	15	16 ○さくら生活 学級(つくば市) 交流会 食事会
17	18 ○たんぽぽ 学級 (郡山市) 新年会	19 ○梅檀婦人 学級 (福島市) 新年会	20	21	22 ○ひまわり婦人 学級(白河市) 食事会	23
24	25	26 ○桜婦人 学級 (いわき市北) 笑いヨガ ○すみれ婦人 学級(いわき市) 3B体操	27 ○しらゆり 婦人学級 (南相馬市) 新年会	28 ○はなみずき 婦人学級 (加須市) 新年会	29 	30
31						

平成27年度生活学級は12月をもって終了しました。皆様のご参加・ご協力、ありがとうございました。

【問い合わせ先】 双葉町教育委員会 教育総務課 生涯学習係 ☎0246-84-5210

双葉町社会福祉協議会から

～健康運動教室、社協サロンのお知らせ～

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。
お気軽にご参加ください。



1月開催予定日

会 場	問い合わせ・申し込み先	開催月日	時 間
健康運動教室 （健康講話、相談、運動機能の維持・向上等）			
福島市 北幹線第二応急仮設住宅集会所	福島市飯坂町平野内小原田 8-1 ☎080-6033-1196（宮田）	1月 7日(木) 1月21日(木) 1月28日(木)	13:30～15:00
白河市 郭内第二仮設住宅集会所	白河市郭内 151-29 ☎080-6290-5930（開発）	1月12日(火)	10:00～11:30
双葉町コミュニティ施設 せんだん広場	郡山市御前南 2 丁目 73 ☎080-5746-8530（泉田）	1月25日(月)	14:00～15:30
郡山市 富田町若宮前応急仮設住宅集会所	郡山市富田町字町 15 ☎080-5746-8530（泉田）	1月25日(月)	10:00～11:30
南東北総合卸センター 2 階	郡山市喜久田町卸 1 丁目 1-1 ☎080-5746-8530（泉田）	毎週火曜、水曜日 （祝日除く）	13:30～15:00
社協サロン （健康講話、相談、趣味、生きがいづくり交流等） ※社協サロンでは昼食を準備いたしますので、事前に申し込みをお願いします。			
白河市郭内第二仮設住宅集会所	白河市郭内 151-29 ☎080-6290-5930（開発）	1月 6日(水)	10:00～14:30
郡山市喜久田公民館	郡山市喜久田町卸 1 丁目 1-1 ☎080-5746-8530（泉田）	1月15日(金)	10:00～14:30
会津若松老人福祉センター	会津若松市城東町 14-52 ☎080-5746-8530（泉田）	1月18日(月)	10:00～14:30
サンライフ福島	福島市北矢野目字檀ノ腰 6-16 ☎080-5746-8530（泉田）	1月22日(金)	10:00～14:30
かしま交流センター 2 階	南相馬市鹿島区横手字川原 186-1 ☎0246-38-7105（渡辺・野村）	1月26日(火)	10:30～14:30

【問い合わせ先】双葉町社会福祉協議会 郡山事務所 ☎024-973-5291 【担当：泉田】

総合労働相談コーナーのご案内 一福島労働局一 職場のトラブル解決 サポートします

職場でのトラブルにお悩みの方、トラブルの発生が心配な方、人事・労務等で疑問をお持ちの方などは、お気軽に最寄りの「総合労働相談コーナー」・「雇用均等室」にお問い合わせください。

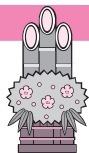
◎総合労働相談コーナー一覧（※のコーナには、女性相談員がいます）

福島労働局 総合労働相談コーナー	※	024-536-4610 0800-800-4611	福島 総合労働相談コーナー	024-536-4610	
郡山 総合労働相談コーナー	※	024-922-1370	いわき 総合労働相談コーナー	※	0246-23-2255
会津 総合労働相談コーナー		0242-26-6494	須賀川 総合労働相談コーナー		0248-75-3519
白河 総合労働相談コーナー		0248-24-1391	喜多方 総合労働相談コーナー		0241-22-4211
相馬 総合労働相談コーナー		0244-36-4175	富岡 総合労働相談コーナー		0246-35-0050

◎セクハラ、性差別、妊娠等不利益扱い、育児、介護休業法等の相談窓口

福島労働局 雇用均等室 024-536-4609





双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りの一部をご紹介します



義母上様へ

義母上様 3年もの長い間さみしくはなかったですが
今日は義父上様を双葉の里にお連れいたしました
現世にお姿はありません

義母上様と同じになってしまいました

4年6カ月の避難生活 あまりにも長い期間です
これからはお墓の中で夫婦水入らずにお話してください
また、残された家族を双葉の里よりお見守りください
よろしくお願いいたします

近いうちにまた会いに来ますね

平成27年9月28日

長女の夫 柚原秀康（三字）より

武内 恒雄（長塚二）

・ 吾が生命 永らいありて 卒寿越し
・ 白寿の坂に 凜として起つ
・ 振り向けば 九十余年の 足の跡
・ 生きる為にと 泣いて笑って
・ 孫の来て 帰したくない 秋時雨
・ 母と娘の 語り盡せぬ 秋日和
・ 山の背の 虹に癒さる 深秋の早朝
・ 落葉樹 いと淋しけれ 冬の入り
・ 過ぐる深秋 惜しむか明けの 残り月

雲が行く

見上げる者すらいなない空を

風が吹く

佇を立てる者すらいなない通りに

雨だろうと

雪だろうと

震える者さえない町

凍えているのは

遥か彼方より

故郷を想う心



真奈美（熊川多恵子・両竹）著

詩集「ぼくらのゆくえ」より

人のうごき11月分

敬称略

お誕生おめでとうございます

氏名	生年月日	保護者	行政区
あらき ここ 荒木 咲恋	10月26日	成哲・涼子	下 条
いわもと ゆう 岩元 悠	11月2日	要・幸枝	長塚一
あべ もとか 阿部 元香	11月7日	克也・由紀子	三 字

お悔み申し上げます

氏名	年齢	死亡日	行政区
猪井 廣文	88	10月25日	新 山
武内 義男	89	10月31日	長塚一
大宮 静枝	84	11月6日	寺 松
芟花 勇	83	11月6日	山 田
岡田 数忠	65	11月16日	山 田

双葉町民の避難状況

（平成27年12月1日現在）

- ・ 福島県内に避難されている方 4,051人
- ・ 福島県外に避難されている方 2,927人

※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から
死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示
しています。

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、
死亡の方の名前を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご
連絡ください。 ☎0246-84-5202

双葉町を忘れない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、私たち双葉町民はふるさと双葉町を離れ、今もお全国に分かれて避難生活を送っています。

先の見えない不安な生活の中で、町民の皆さんが毎日をどのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思いを抱き続けているのかを、皆さんの声をお聴きしながら「ふるさと絆通信」として連載していきます。

そして「ふるさと絆通信」を通して、皆さんの双葉町への思いと心の絆がより一層深まることを期待いたします。

記録として次の世代へ きずな ふるさと絆通信 第32号



ずっと、ふるさと。双葉町。

「ふるさと絆通信」であなたの想いを伝えてみませんか。

ふるさと絆通信では、町民の皆さんへ想いを伝えていただける方を募集しています。避難生活での活動や日々の生活の中で感じていること、ふるさと双葉町への想いをこのコーナーでお話ください。双葉町民の方ならどなたでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

—想いを伝える—

ふるさと絆通信は、株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が町民の皆さんの避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただいています。

掲載する文章は、インタビューの内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する手間はありません。



【問い合わせ先】 秘書広報課 ☎ 0246-84-5202

たまの けんいち
玉野 憲一 さん
ひろこ
ヒロ子 さん
(郡山)



●避難先●
福島県福島市



体育教師を務め、退職後は町の体育事業に関わってきました。長年、体育分野を通して皆さんの健康の維持や増進に向けて活動してきましたが、それも豊かな故郷があつてのことで、避難による生活環境の変化ほど心身に堪えるものはないことを思い知らされました。

平成22、23年にかけて、夫婦とも「後期高齢者」と呼ばれる年齢になり、長男は故郷で妻子と共に落ち着いて生活するため、自宅隣地に家を建て始めるなど、私たち一家にとっては節目の年でした。予定では平成23年3月頃、長男宅は完成しているはずでしたが、建設に着工し土地造成を行っている中、地中から遺跡が出土しました。そのため工事は中断され発掘調査が行われていました。

震災発生時、私は郡山地区老人クラブの会長を務めていたため、翌々日に開催予定だった総会の開催に向け、妻と共に資料を作成していました。家具やテレビなどを押さえながら、夫婦でケガも無く地震の揺れを乗り越えることができました。また、自宅隣地で発掘調査を行っていた方々には、早々に帰宅を促しました。

地震発生からしばらくの間、電気が通っていたためテレビを通して、地震と津波が広範囲に甚大な被害をもたらしていることを知りましたが、当時、相馬市内の学校にそ

れぞれ勤務していた長男夫婦や同市内で生活していた孫たちのことが心配でした。私の自宅がある地区は第一原発から3キロ圏内にあるため、震災発生当日の夜には避難指示が出され羽鳥公民館に身を寄せ、翌日、川俣町内の避難所に向かい、その3日後から長男一家と福島市内にある妻の実家でお世話になりました。その後、ホテルリステル猪苗代やいわき市内を経て、長男一家と共に自宅を建てたため、平成25年夏から福島市飯野町で生活しています。この場所は、かつて避難した川俣町に近く、同町内を通るたびに、避難開始当初の辛い日々を思い出すこともありますが、子どもや孫たちのためにも、前向きに余生を送っていこうと思います。

昨年5月より町老人クラブ連合会長を務めさせていただいております。震災後、前会長から体調不良のため代ってもらいたいと話がありました。皆さんから説得され、引き受けることになりました。避難中という状況下、難しい対応が必要になることもあります。少しでも皆さんのお役に立てる活動ができるよう、可能な限り務めてまいります。

避難後、町敬老会と同日に、町老人クラブ主催で一泊二日の研修会を行っています。故郷の思い出や子孫に託したい故郷の姿などを語り合う場として、一人でも多くの方に参加していただきたいと思います。



よしだ ぜんいち
吉田 善一 さん

(羽鳥)

ふるさと ●避難先●
絆通信 福島県会津美里町

昨年11月、福島民報に、私が育てたコキア（ホウキグサ）が、借り上げアパート近くにあり、東邦銀行高田支店の花壇で見頃を迎えている記事が載りました。避難以来、遠ざかってしまった多くの皆さんから、久しぶりに元気な姿を見たと言われ、うれしかったです。震災前、親戚、近所の皆さんや友人知人など、顔を合わせた姿を見かけることが当たり前でしたが、「何気ない日常」ですら、テレビや新聞、広報紙などを通してしか交わさなくなったことは残念でなりません。

震災当日、福島第一原発構内で勤務しており、6号機の放射線管理区域に入るため着替えをしていたとき、大地震に襲われました。原子炉建屋は耐震構造のため大丈夫とは分かっていたのですが、地震の大きさには驚きました。地震により作業は中止となり、無事に帰宅することができましたが、妻は双葉厚生病院に勤務していたため、緊急対応で帰宅することができませんでした。

帰宅後、自宅建物に大きな被害が無いことは確認できましたが、揺れで物が散乱してメチャメチャの状態でした。間もなく日没になり、うとしていたため、作業は翌朝に持ち越し、その夜は自宅で過ごしました。翌朝、避難指示が出されていることを知りましたが、妻は病院の皆さんと行動を共にしていたため、夫婦それぞれの避難となりました。避難開始当初の数日間、浪江町内の山間部と自宅を行き来していました。

が、原発の爆発や放射能の危険があるため、福島市内に移動したところ、妻と連絡が取れ合えませんでした。そこに会津若松市在住の長男が迎えにきたため、長男一家のもとにお世話になり、その後、妻は高田厚生病院で勤務を再開したため、同院の近所のアパートに入居し、現在に至っています。また私は、勤務先が事業を再開したため、平成23年5月頃から数カ月間、いわき市内で単身赴任生活を送りました。

平成25年から町民生児童委員を務めています。会津地区では私一人ですが、この地区には約200人の双葉町民が避難生活を送っています。避難生活を強いられてから間もなく5年になろうとしています。生活の自立の程度は人それぞれのため、民生児童委員として避難先訪問をするにあたって、どう接していいのかわかりません。また、訪問を押しつけることができません。また、訪問を押しつけることができない一方、本当は、悩み苦しんでいる方が「私は大丈夫です」と対応することもあり、民生児童委員としての役割を果たすことは、言葉では簡単ですが、難しく感じることも多々あります。

今年、妻は定年を迎えます。何事もなければ、故郷での老後となるでしょうが、こうした状況下では、まず「どこで、どう老後を過ごすか」ということを考えなくてはならず、夫婦で悠々自適な生活までは、もうしばらくかかりそうです。

はんがい さだゆき
半谷 貞幸 さん
とみこ
富子 さん
(下条)



●避難先●
埼玉県八潮市



写真中央は孫・伊織くん（1歳・次女夫婦の長男）

私たちには孫が8人おりますが、写真で抱いている伊織を含め、避難後に生まれたり、震災当時幼かったなどしたため、故郷や震災を知らない（覚えていない）孫もおります。また、私は震災による大地震、大津波、町外への一斉避難を体験していません。

震災当時、私は仕事のため石川県金沢市内にいました。双葉町から南西に直線距離で約400キロ、しかもアルプスを挟んだ日本海側ということもあって、地震の揺れを感じることはありませんでした。丁度、3月11日の夜間作業をもって、同地での案件は完了することになっていました。テレビで震災を知り、妻や子どもたちに電話を掛けまくりましたが、なかなか繋がりません。そんな中、町内に住む長女と繋がり、家族の無事を知りました。そのため同夜、通常どおり現場に出勤したところ、皆さんは驚いた様子で、現場の責任者からは、一大事なので早く故郷の家族のもとに帰るようにと声をかけられましたが、帰るに帰れないという状況でした。

それ以降、福島県内に戻るための情報を得ようと、警察などに問い合わせました。しかし道路の寸断やガソリン不足により、当面、現地に行くのは難しいと告げられましたが、新潟県内で家族と合流し、その後、長男が埼玉県八潮市内にある勤務先（日東金属株）の工場で業務を再開するのにあわ

せて同市内に移り、現在に至っています。

双葉町内で私は工務店を、妻はそろばん教室をそれぞれ営んでいましたが、休業状態にあります。私の場合、被災地での案件が中心となるため、仕事を再開すれば家族と離れた単身赴任生活となります。妻の場合、立地条件等の問題があり、こちらでの教室再開は困難です。そのため、2人とも仕事を見合わせ「孫育て」に専念することになりました。私たちと長男一家は八潮市内に自宅を建てることになり、長女一家は同じ市内で、次女一家は隣接する東京都足立区で生活しているため、孫たちを預かることができます。今後、子どもたちが夫婦共働きになることも視野に入れて、孫たちが手のかからない年齢に成長するまで、子育てを手伝っていきたいと思っています。

震災前、仕事で双葉町を離れていたことが多い私に代って、妻は積極的に地域活動に参加していました。避難により多くの活動はできない、あるいは規模縮小となってしまうましたが、現在でも町交通安全母の会副会長や町後継者結婚対策協議会の幹事などを続けています。いずれも、日常的な活動はできませんが、同協議会では一昨年9月にいわき市内で婚活パーティーを行ったり、同母の会では今年のダルマ市に出店し事故防止を訴える予定等、妻なりに前向きな姿勢で取り組んでいます。



写真左側は祖母幾子さん

おのだ あきら
小野田明さん

(新山)



●避難先●
茨城県水戸市

大学2年生の春休み、平成23年3月11日、その朝、京都に住む同級生の自宅を出発し、双葉町の実家に帰るために電車で東京方面に向かっていました。新幹線ではなく東海道線の各駅停車を乗り継ぎ、乗車していた列車が静岡県内を走行中、地震により運転を見合わせました。その後、運休となり列車を降ろされたため、ヒッチハイクをしながら静岡市内まで進み、運転を再開した東海道新幹線で新横浜まで向かい、神奈川県内の親類宅に身を寄せました。帰りたいのに帰れない。まるで演歌の一節にしかないようなことが、現実となって自分自身に襲いかかってくるとは夢にも思いませんでした。

私は双葉高校を卒業後、茨城大学人文学部に進み、地域社会学やまちづくりなどを学びました。また、故郷が好きだったため、毎週のように実家に帰っていました。それができなくなり、考えるだけで辛くなってしまうため、初めのうちは双葉について考えないよう意識したこともあり。大学入学後、学校の授業等を通して海外留学に興味を持つようになっていました。機会さえあればすぐにでも行きたいと思っていました。震災等の事情から、一時ためらったこともありましたが、やりたいことは諦められず、大学4年のとき休学して約1年間イギリスに留学しました。

イギリスでの生活を始めた当初、慣れるのが精いっぱいでしたが、友達にも恵まれ、

気持ちの余裕が出てくるようになると、「フクシマ」をテーマにした演劇チームに参加し活動しました。その頃から、辛さのあまり封印していた故郷・双葉について再び考えるようになりました。

留学期間を満了し帰国後、故郷恋しさのあまり、すぐに一時立入し変わり果てた故郷の姿を目の当たりにしました。そして、震災前の姿を残しておけば良かったと後悔するようになりました。それと同時に、この被災した姿を少しでも残そうと思い、町内の風景や避難生活を続けている皆さんを記録し始めました。そしてそれは、故郷とは、双葉町とは何なのかという答え探しのようなことに繋がっていききました。その答えに繋がることは相当難しいことだけは分ってきたように感じられますが、こうした活動を通して、多くの発見や気づきを得たことはとても大きく、大学卒業後はそのまま茨城大大学院修士課程に進み、災害社会学の視点から、論文の執筆や映像作品の制作を行いました。

この春、大学院を修了します。社会に出るにあたって、故郷を記録することや故郷と共に将来を歩んでいきたいと考え、福島県内のマスコミを志望したところ、福島テレビに就職が内定しました。これまでの活動と仕事では、違いが多くあるとは思いますが、自分のできることを通して、故郷の復興に寄与できればと考えています。

JOE'S MAN 2号

たかさき じょう
代表 高崎 丈さん

(長塚一)



●避難先●
東京都世田谷区



故郷での新たなチャレンジは約1年半で強制終了となりました。平成21年初頭に結婚し、その4月、故郷にUターン。その後、両親が営むキッチンたかさきの隣にあった空き家を改造して同年9月9日、創作料理が楽しめる居酒屋として「JOE'S MAN」を開業しました。

店の名前は私の名前をもじったものです。地元を離れてから調理専門学校に通い首都圏での修行を経て十数年。30歳という節目の歳を目前にしたときでした。

私は幼い頃から、飲食店を営む両親の背中をみて育ってきたせいか、将来、キッチンたかさきを継ぐと思っていました。そうした念願が叶ったの第一歩でしたが、現実にはそう甘くはありませんでした。開業後はそう甘くはありませんでした。開業後は料理をわかって頂くまで大変でしたが、開店から1年を過ぎた頃には常連のお客様も増え、ランチ営業も始めるなど、ようやく店が軌道に乗り始めた矢先の避難、つまり「1年半での強制終了」となりました。

町を離れてから、川俣町で両親らと離れ私たち夫婦と長男は千葉県内にある妻の実家に身を寄せました。長期避難になると直感していたため、まず生活の自立を考えました。そんな中、Uターンするまでの勤務先から声をかけていただき、約3年間、お世話になりながら避難先での開業を模索し

ていました。

そして挑戦するなら客の評価が厳しいところだと覚悟を決め、平成26年10月、2号店としてJOE'S MANをオープンさせました。

開業した三軒茶屋駅周辺は、自由が丘や二子玉川に並ぶ飲食業激戦区で、住民が多くマーケットも大きい反面、トレンドに敏感で遊び慣れたお客様が多く集まります。そのため、新しい店ができると二度は足を運んでくれますが、それで駄目なら二度目はありません。勝負は始まったばかりですが、新しい土地で一歩ずつ前に進み軌道に乗ることが、私にとつての復興だと思っています。そして将来、両親らが生活する福島県内に「キッチンたかさき」の2号店を開くことができ、皆さんが知るあの懐かしい味を自分なりにアレンジできる日がくればと思っています。



〒154-0004

東京都世田谷区太子堂2-25-6
池田屋ビル2階

電話：03-6450-8792
(東急田園都市線・世田谷線三軒茶屋駅近く)

ぼくの夢・わたしの夢



いわき市立泉北小学校6年 ^{あまの}天野 ^{りか}莉佳さん（下条）

私の将来の夢は、理学療法士になることです。

きっかけは、以前病院に行った時に、外からリハビリ室が見え、患者さんをサポートしている理学療法士さんを見て、大変そうだけどやりがいのある仕事だと思いました。お年寄りや体が不自由になってしまった人達が、元気に過ごせるようにお手伝いをする仕事をしたいと思いました。

4月から私は中学生です。夢に向かって目標を高く持ち、今までよりさらに勉強も何事もがんばりたいです。

平成28年の新しい年を迎えました。今月の表紙は、双葉ダルマとJAふたば女性部ダルマ部会の皆さんです。震災後は双葉ダルマの製作を一時中断していましたが、避難先でのダルマ市の復活とともに震災の翌年には再開しました。作業は、10月から週に2日集まり、クリスマス頃まで製作に取り組んでいます。1つずつ丁寧に心を込めて描かれていく双葉ダルマがダルマ市の店先に並びます。

1月号では、年男年女である児童の今年の抱負や今感じていることを掲載しています。それぞれの避難先で生き生きと生活している様子がうかがわれ、どの児童の作文の最後は「がんばります」で締めくくられています。子どもたちの元気をもらって私たちも明るく前向きにがんばっていききたいですね。

今年は申年（さるどし）です。申は「去る」を意味し、「悪いことが去る」「病が去る」など幸せを運ぶものとする説があるように、今年も町民の皆さんにとって悪いことは去り、幸福が訪れますように：

編集後記



ふくしま駅伝で双葉町の応援フラッグを持つ
紺野希美さん(左：鴻草)、大久保七海さん(中央：山田)、今泉さやかさん(右：郡山)の笑顔です。

連絡先

○いわき事務所 〒974-8212 福島県いわき市東田町二丁目19-4
☎ 0246-84-5200 FAX 0246-84-5212、0246-84-5213
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp

○郡山支所 〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20番2号
☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5120
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

○埼玉支所 〒347-0105
埼玉県加須市騎西36番地1 加須市騎西総合支所1階
☎ 0480-53-7780
FAX 0480-53-7266
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

○双葉町公式ホームページ <http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>
携帯サイト <http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/m/>

○双葉町公式フェイスブックページ [つなげよう つながろう ふたばのわ](https://www.facebook.com/fukushima.futaba)
[http://facebook.com/fukushima.futaba](https://www.facebook.com/fukushima.futaba)

